

（旧）広域農道「清里板倉新井線」の愛称が 「くびき野パノラマ街道」に決まりました

上越市板倉区の筒方地区活性化委員会（下鳥大助代表）は、（旧）広域農道「清里板倉新井線」（上越市清里区棚田から妙高市寸分道間 22 キロメートル）の愛称を公募してきましたが、1 月 13 日に応募のあった 114 件について選考会を開き、同広域農道の愛称を「くびき野パノラマ街道」、これにほぼ近い愛称の提案者佐藤幸雄さん（上越市大手町）に優秀賞を贈ることを決定しました。沿線にある宿泊施設山荘京ヶ岳（清里区）、やすらぎ荘（板倉区）、大滝荘（妙高市）のうちから 1 個所にペアで宿泊できる宿泊券を贈呈します。選考は 23 年 12 月に発足した（旧）広域農道清里板倉新井線沿線活性化協議会の役員 6 名と上越教育大学東原準教授の 7 名の選考委員により行われました。

「くびき野」は道路が通っている上越市清里区（清里村）、板倉区（板倉町）、妙高市水原地区がかつては同じ郡「中頸城郡」に含まれていたことに由来し、「パノラマ」は道路の標高が 200～300 メートルに位置し、妙高・火打連山の景観を始め、頸城平野を俯瞰する景観に優れており、この字句が「行ってみたい」というイメージを喚起するとしてこの愛称を採用しました。

愛称募集は平成 23 年 12 月の 1 ヶ月間行われ、42 名の方々から 114 件の愛称が寄せられました。愛称は応募用紙 21 名、インターネット 14 名、葉書 7 名により応募がありました。地域別で見ると上越市内 30 名、東京、埼玉、千葉などの関東から 6 名、妙高市を含む新潟県内から 4 名、愛知県から 2 名からの応募があり、インターネットの告知効果を確認する結果となりました。

今後は上記の沿線活性化協議会の名称を「くびき野パノラマ街道活性化協議会」に改称し、共同して道路の観光道路としての側面を P R し、経済効果による地域活性化を目標に、さまざまな課題解決をしてゆきます。平成 24 年度は道路の周知を中心に活動し、イベントの実施等を検討することとしております。

以上よろしくお願い致します。

【問合せ先】

くびき野パノラマ街道活性化協議会

筒方地区活性化委員会

担当：中嶋隆一

携帯：090-2485-3676